





看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。(なかなか、理解してもらえないのが現状)
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・業務管理 ・事業計画、評価機能の整理等
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。しかし、事業の企画のための事務をしていると地域に出ていけない
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。にちかいです
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。について評価してほしい
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。また住民の方の相談に対し、保健・医療・福祉面から総合的に対応できる職種であること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。加えて福祉的視野も考慮しつつ住民の自立支援を行っていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。行政職の上司からは、私たちの仕事・業務についてあまり理解が得られていないようです。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。事業の成果、必要性を上司に感じてほしい。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。自分はまだまだですが…。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。住民とのかかわりは自分のところの保健事業の企画だけでは完結できない。保健師が住民とのかかわりから把握したものをうけとめ、大きな市の政策にも反映させるという体制があるとよい。ただ市の体制自体住民とのかかわりから得た情報を十分と入れるようなゆとりはなさそうである
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。住民の生の声を生かすこと
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。予防的な視点を事業計画に盛り込み、実施・評価していこうとしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、健康づくり支援を住民の声を大切に行っていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、個々の事例を大事にしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、個別に支援を行っていること、又、そこから得たニーズを基に事業の企画、運営を行っていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、困難な事例を他機関と連携しながら解決の方向へ近づいていっていること。その結びつきの中で他機関と情報交換しつつ良好な関係を築き他のケース以外にもすぐ情報がもらえたり、サポートしたりできる事
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、事業の企画、運営をしていること また、個別対応の必要なケースへその対象にあった関わりをしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の健康などについての意見を情報収集するとともに、住民の健康に関して、役立つ指導ができるよう心がけていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の健康などについての意見を情報収集するとともに、住民の健康に関して役立つ指導ができるよう心がけていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の声を大切にしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民や町の健康づくりに生かしていこうとしていること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、得た情報を基に、関係機関と連絡をとり合いながら事業の運営をしていること。住民の声を大切に、事業終了後も個人・家族のフォローを継続していること。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、複数の関係機関と連携をとり、業務に従事していること。

看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わりそこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり事業を運営したり、相談、訪問をしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり住民の健康の保持増進のために事業を展開していること、他の職種と連携するコーディネーター的な役目。
看護や医療の知識を生かした専門職として住民と接し、課の業務の企画、運営をしていること
看護や医療の知識を生かした専門職として住民にかかわり、“今、必要なもの”を事業に反映させようと努めていること
看護や医療の知識を生かした専門職として地域の実情の把握に努め、これからの保健行政で何を行っていくべきかを考えていること
看護や医療の知識を生かした専門職として地域や住民と関わり協同しながら健康づくり活動を推進していること。
看護や医療の知識を生かして、行政職として他機関と連携し、問題解決しようとしていること
看護や医療の知識を生かして、行政職として他機関と連携し、問題解決しようとしていること
看護や医療の知識を生かして、住民をはじめ、他職種との連携を大切にしながら、事業を運営していること。コミュニケーション、信頼関係をうまく保つ事。
看護や医療の知識を生かして、予防の視点を持ち、住民ひとりひとりの個性を大切にしながら住民へのサービスを行っていること。
看護や医療の知識を生かして住民、1人ひとりの健康管理能力を高める支援をしていること
看護や医療の知識を生かし住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の運営をしていること。
看護や医療の知識を生かし住民と関わり、住民がかかえている問題に対し他機関と連携する等、日常的にケースワークを行っていること
看護や医療の知識を生かし住民と関わり得たことを事業に生かしていくこと、地区のケースを1ケースごと大切に、地区全体の問題としてとらえ関わっていること。
看護や医療の知識を生かせること
看護や医療の知識を生かせること
看護や医療を生かした専門職として住民と関わり、住民の声を大切に、企画、運営をしていること
看護や医療知識を持って介護保険や高齢者福祉に関わっていること
看護や介護、医療の知識を生かした専門職として住民が自分で考え選択できる力を持てるよう援助、育成する
看護や福祉など自分のもつ知識をフルに活用し、他の関係機関と連携しながら、利用者本人、家族の意向にそえるよう日々調整していること
看護や保健など公衆衛生の知識や技術を生かした専門職として、他の職種や機関をコーディネートしていること。個別対応(訪問、相談、面接)ができ、それらの事例の蓄積があること。
看護や保健の中に生活者の立ち場をとり入れて生活に根ざした健康づくり
看護師としての臨床経験又、そこからめざすようになった健康への考え方を生かした保健師としての住民サービスを大切にしていること
看護師の経験を生かし、生活習慣病の予防に取り組んでいる
看護師の経験を生かして、業務をしていること 地域の人達という関係で業務をしていること
看護師間の調整をするところ。
看護職としての視点、住民としての視点をもって仕事をしていること
看護職としての専門性
看護職として住民が地域の中で生活していくために何をすべきか考え活動していること
看護職として専門性を生かし、総合的にみる 住民の声を大切にす
看護専門職として、地域住民と関わり、統計処理等不十分な点はあっても、地域住民の声を大切に、地域の特性を考え、保健事業を行っていること。
看護等の知識を生かしながら、健康維持、病気の悪化を防ぎ、生きがいをもって生活していけるように援助していること。
管理職として不十分ながら働きつつ、保健師として現場業務も担っていて、住民の声をかなり把握できていること。
管理的、教育的支持的機能
関わったケースの満足度、専門職として最善であったか、という視点で評価して欲しい
関わったケース個人、家族や地域の変化、数値的に表わせない質的な変化
関わったことにより対象(個人や地域)の変化がみられたことや関係づくりができたことなど、目で見えたり、数字であらわすことのできないところ
関わったことによる影響や変化、成果など
関わっている地域住民ひとりひとりの気持ちを聞こうとしていること。他職種・他機関からのアドバイスを大切にしていること。
関わりの過程～結果よりも過程のほうが見えづらい。
関係する職種の特性や役割を理解した上で、対象者の支援がスムーズに行われるよう調整していること。保健、医療の知識を生かして、事業の企画運営をしていること。
関係機関からの情報収集とそれにもとづく事業の企画
関係機関からの要請に対して迅速に対応していること
関係機関とできるだけいいに連携をもち円滑にすむよう努力している点
関係機関との連携
関係機関との連携(数字に表れにくい)
関係機関との連携がトラブルなくとれている事。そのため、困難事例も滞りなく解決に向かっている点。
関係機関との連携をとりながら、事業を行っていること。
関係機関との連携を最大限大事にしながら問題解決にあたっていること

関係機関との連携を大切にしているところ。
関係機関との連携を密にして事業を実施している 関係機関との情報の共有を図っている
関係機関との連携調整等におわれていること。(ネットワークづくりなど業務推進のための体制づくりの重要性を評価してほしい)
関係機関と協議を重ねて、保健活動を事業化していくこと。
関係機関と情報共有しながら地域の特性を把握し活動していること
関係機関と連携し、事業を展開していること。地域の課題等を報告書で上司・同僚に知らせていること。
関係機関などと、よい関係を築き、早期に連携できるようなところをけている。福祉の現場の中で、保健の視点を忘れないように対応している。
関係機関や地域住民との連携の上で、業務を成立させていること。
関係者との連携のとり方 情報の判断
関係者と連携していく能力
関係職種(機関)と連携をとって、ケースフォローをしてきたこと。今年初めて事業担当に変わり、わからないことが多く、評価してもらえる程のことはできていない
関係職種の方々と微調整をマメにとり、仕事のバランスをはかっているところ
関係団体、関係機関との連携を密に行っていること 係員の調整、学習意欲の向上に努めていること 事業評価を行っていること
関係部署、関係機関との連携、住民と共に健康づくりを進めていきたい気持ち
関係部署とのネットワークと知識力、過去からの経験力が必要とされるところ、新しい分野の仕事すすめていこうとしているところ
関連する組織の人員が仕事しやすいように調整努力しているところ
関連する他の機関と連携を密にすることで業務の効率化、改善に努めていること
関連機関との調整をいかに円滑に行っているか。常に町民の立場になり物事を考えることを大切にしていること。
関連機関との連携の中で業務を実施していること(医療、保健、福祉、農政)
企画、運営に関して、情報収集からそのアセスメント、計画、実施、評価等
企画、地域組織づくり
企画、調整等に関し努力していること
企画～運営～評価の中で、専門職としての住民との関わりを重要としながらも、施設の中ばかりでなく、地域としてもみていく点
企画・運営・評価能力 コミュニケーション能力
企画・運営をしたとき
企画運営まで実施しているところ ニーズにあわせて具体的な事業をしているところ
企画運営をし、評価までしていること、対象は幅広く(乳児～老人)専門知識をもって対応していること。
企画調整に関して、他関係機関、部署との
企画調整は目に見えにくい業務。ほう大な統計に向きあたり、Tellしたり、悩んだり直属の上司には「能力があるからおまかせ」的な扱いをされるのが納得いかない。きちんと相談にのってほしいし指示してほしい。
企画調整力
企画力というより、住民と直接、接する中で住民の声を反映しながら、住民サイドに目を向けて、仕事をしてきたこと。人と人とのつながりを大切にしてきたこと。
企画力について評価してほしい。
基幹型在介ができて、地域型在介の活動が活発になってきたこと
基幹型支援センターの医療職として、看護や医療の知識を生かすとともに地区保健師としての活動してきた経験やノウハウ、専門職としての評価を行っていること。
基本的なところかもしれないので特別ではないかもしれませんが、人間関係を築いていけ、そこからその方の精神的サポートが継続していけること
机上ではなく、住民の中になるべく入るようにしていること。(訪問・健康教室など)
机上の上だけではなく、実際に訪問、面接等により住民の健康状態 生活状況及びニーズ等を把握した上で、各サービス等へつなげているところ。
既に実施されている国保、健康づくり事業を地域を見る観点から、住民の声を大切にしていること。(質量の計れないものをいかにデータ化するかが今の課題である。)
既存の方法にとらわれず、住民の声を大切に、業務の改善に努めているところ
既存の資料を使い、データに変えていること
既存の事業展開にこだわらず、柔軟な発想で新しい事業展開を考えていけること、その他は普段かなと思います
期日を守った仕事の展開をこころがける。準備は早めに行き急ぎの仕事が入っても、予定をこなせるようにしている。
規定のある保健事業の中で、住民のニーズに対応できるよう、なるべく工夫して事業を遂行しているところ
記入なし、住民の声は大切にしている
記録・実績には残しきれない、連絡調整、処遇の検討整理
客観的にみて、自分は保健師としてどうなのかというところ。
虐待ケースや、精神ケース等、多問題ケースへの支援は時間がかかるが良い結果は生まれにくい。結果がみえにくい支援している経過は評価してほしい
虐待訪問やスタッフの欠をうめるためグチもこぼすが、休まないよう他スタッフにこれ以上負担がふえないうれがないうがらばっていること
急激な効果はでなくても地域のことを考えて健康づくりにとりにくんでいること
居宅介護支援事業所の介護支援専門員等、様々な考えを持つ一般の職種との人間関係の調整を実施していること

居宅支援事業についてはある程度の収入になっているため、そこを評価してほしい。
協調性をもって仕事をしているところ
教育、相談場面において住民と接する際には、その個人個人の声を大切に支援していること 一人一人の健康づくりが市民全体の健康づくりへとつながっていくと考えています
教室に参加する住民について、できるだけ参加の目的、住民が(例えば生活習慣病予防教室等)知りたいこと、ききたいことは何かと、住民から情報を得、答えられるように心がけている
教室の参加者にアンケートを取り、事業にいかしている
教室や事業に参加する住民の要望を取り入れ、期待に沿うものであるように、感想意見を聞いているところ
教室等からの市民の声を事業の企画運営に役立てようとする視点
業務がスムーズにすすんでいこうように業務管理を行っていること
業務が多くても、時間内でできるだけ努力し、時間外勤務をしないようにしていること。(時間外勤務が多いからといって評価されるのは誤りだと思う)
業務ででてきた課題点を市の施策としてあげられる様な評価をしてほしい。数字に表わし、わかる様なあげ方をしないと認められないので、提出方法にも充分検討が必要だと思う
業務に係る 個々の事例を積みあげて評価報告をし、再度業務に生かしている
業務で積極的に動こうとしている所
業務で得た情報、住民の声等から、他部署へアプローチし、対応等に生かしてもらえるようにしていること。業務評価を行ない、改善策を立てていること。
業務と必要と思うことについて知識を高めている
業務にたずさされる職員同志がお互い円滑に仕事ができるように心がけている。
業務にゆとりがなく、やりたいと思っても実行できずに過ぎてしまう。評価してほしいと思えるほど活動していない。
業務に関する姿勢
業務に関する知識をより深める努力をし、それをいかそうとしていること
業務に対し取り組み姿勢 専門職としての仕事のあり方(業務処理)
業務に対する意欲
業務に対する姿勢、情報収集し日頃の活動に活かしているか、計画性を持ち取りくめているか
業務に対する取り組み方
業務に追われているが、それなりにがんばっているところ。
業務の1つ1つに何のためにすることなのかを意識しているかと思っています
業務のごまごまとした準備や後かたづけ、事業を進めていく時の理解や協力
業務の業務が多く、地域ケア体制等、力を注ぎたい部分の業務になかなか本腰をいれられない状況… 評価を望むというより、自分で少しでもその必要性を提案できるように業務を整理できたら…と考えております
業務の処理能力
業務の数字の評価でなく内容
業務の専門性、担当している地域の特長性に於いた業務全体を評価してほしい
業務の専門性とそれに基づく住民との関わりについて
業務の対面性(看護や医療知識だけでなく国保や年金・生保・障害・福祉等全般の関連をつかって1ケースの問題解決を図っていくこと)に時間を要すること。
業務の中で、常に住民の声などを考えるようにしている。
業務の中でかかわる地域の住民の声をききながら、業務のあり方を検討している。
業務の内容で評価してほしい
業務の評価や統計指標の■理により、わかりやすい資料化と必要部所等への提示についてかなり努力している
業務は多忙ですが上司が業務内容を十分理解できている職場なので現状維持で満足しています
業務をこなすだけでなく、その際に保健師としての知識を活用し、助言や指導を心がけていること
業務をできるだけ正確に迅速に行うこと
業務をどのくらい行ったか数値でみるだけでなく、どのように関わっているのかソフト面での評価がよりできるといいと思う。
業務を客観的に分析し、目的をふまえずめていること
業務を実施する際(健康教育等)過去10年間ぐらいにわたって集めた資料から、資料を作成し、対象に合うと思われる内容で行っていること。
業務を進めていく上で、現場の声を聞くよう心がけていること。
業務管理能力
業務上の対応などで指摘してほしい部分がある
業務遂行能力
業務担当制で細かくPHNが分かれているため以前の地区担当制より、地域住民とのつながりがうすく、住民も保健師の存在が遠くなったと言います 健康という側面から地域全体をみてゆくのPHNだと思うのですが他職種を統計的な根拠で説得できないのが悩みです
業務内容が幅広いこと
業務内容の多様性
業務内容の幅や量の多様な担当での仕事。
業務内容の理解を得たい(なぜPHNが関わる必要があるのかということ)

業務内容を知ってもらう。
業務内容を明確にし、対人サービスにおける、住民のニーズを重視しながら多職種と連携することでより良い充実した保健サービスが提供できるよう努めていること。
業務分担の事業を展開しているため、その事業のもつ特殊性が各事業により異なる
業務分担地区分担等できない 保健師の配置状況で日々さまざまな業務を処置していること
業務量が多い点
業務量が多く、自分のふり返りや今後に活かせるようじっくり考える時間がない。よって地域全体を把握する広い視野はもてていないと思う
業務量が多く皆精一杯頑張っていること。
業務量の多いわりに、どうにかこなしているところ
勤務姿勢
勤務態度
緊急に発生する課題が多いので、精神的支援がほしい時がある。まとめをしたいが、余力がない現状にあるが、一つずつ課題解決に向けてとりにくんでいること。又スタッフが連携、協力して前向きに取り組み、成果を上げていること。
緊急時にも、対応できるよう、日頃から情報網をもっていること。(食中毒や虐待など…) 顔のみえる連携をしているところ。
近年、自分の仕事について、評価してほしいと思うことは、ほとんどないが、強いて言えば、専門的な知識と技術を持ち、責任感のある仕事をしていること
近隣町村と比較しても明らかに保健部門のスタッフ数が不足している状況である。更に、2名の保健師の育児休業が2年間続き、2人が重なっていた時期もあり、又、昨年4月より保健師1名が他係へ移動になり、1人は、1年育児休業中であり、常勤は、自分1人の状態が、約1年と、かなり厳しい状況にあります。健康づくり推進協議会では、委員の医師より、健康教室の実施を減らしたことなどについて、手落ちだと指摘を受けたりするが、残された現場の人数で、従来の人員で組んだ業務を全て行なうことは、不可能だと思います。反面、ある程度、評価もある程度して下さり人員補充の要望の声をあげてもらえたりもしていますが、なかなか進捗しない状況であり、もう少し、保健に対しての理解が欲しいと思います
区からの意見、市民から、他課からの意見に対して、誠意をもって対応するよう心がけていること。返づけを確認して回答していること。
区民への対応について、時間ばかりかかって効率が悪い、もっと相談件数を上げるべきだという部長の評価に対しては、件数ではなく、中味で見たいと思う
苦手なことも努力していること
具体的な評価をするために、または評価してほしいと思うにはどのような項目、あるいは視点なのか、自分自身でわからない状態なので、答えが見つかりません。
具体的には、特にない。
具体的には難しいです
具体的に表現できるまで、力をだせていません。
係長として、業務を遂行していく上で、常に係員に自分の得た情報を伝え、係員の意欲や気持ちを大切に、また要求を上司に伝えていくよう努力している。チームワークを大事にしていて、できるだけ平等に接しようとしている
係長として係員間の仕事の調整、気持の調整、あるいは課内各係間との調整 関係機関との調整と仕事のほとんどは、黒子的役割であり、それが必要な位置だと思っています そういう「調整」の仕事は必要な仕事であると評価していただけたらうれしいです。
係長として事業の実施のため関係機関との連携を良好に保つように調整している所(形としてみえにくい)が、努力している)
係内スタッフと管理職との間でパイプ役となるよう、意見をすいあげ、検討してもらうようにしているつもりです。
係内の業務のとりまとめ(全体的なこと)をしている点
傾聴を心がけているところ
型にこだわらず、いろんな方向から考えること。とっぴで行政に生かせないことが多いが、アイデアを出すことは、いいのではないかと思います。
型にこだわらず、住民・地域のニーズや力を見極め、一緒に考え、それぞれの対象にあう関わりをするよう努めていること。
形として残るものだけではなく、それまでの過程をみてほしい 人と人とのつながりや関わり方など
経過ではなく、その過程
経過をじっくりみてから動くこと。新しいことにすぐとびついたり、古いことをすぐとりやめたりしないで必要な部分をじっくり考えてから行動すること
経験も知識もまだまだ不足しているが、とにかく自分なりに、元気に、一生懸命仕事に取り組んでいること。住民と接していくなかで、住民に身近な専門職となれるよう仕事をしていること。より効果的な事業を展開できるようにと常に考えて仕事をしていること。
経験を重ねたことによる幅広い知識
経験年数的にはこなしてあたりまえということで評価されないことも多いため自分自身何を評価してほしいかわからないが、訪問活動などはあまり目にもみえない部分で、あまり行っていない人と同じような評価をされるのは…?と思う
経済効果や結果が出るために時間がかかることや社会状況の変化に応じて課題が変化しているが、常に予防を意識して活動を展開していること。
経済的理由等で介護保険サービスを十分に導入できない場合等、制度のすき間を補っていること。
継続事業が多いので、実施した結果の反省や課題を次年度に生かすようにしていること
計画から評価まで自分なりに努力して取り組んでいること。
計画にそって日々の事業を企画、実施、評価までをしていること。そして、年度毎にまとめ報告している
計画を立てて、業務に取り組んでいるところ
計画立案から実行までに至る過程(誰とどのようにしたか)
決まりきった事や、事務のための事務をしているのではなく、課題をみつけて事業化しようとしていること(実績はまだわずかながら)
決められた期日までには必ず仕事をすること。母子との関わりの事業を主に担当しているが、同じ年代あるいは(下の年代)でも、自分と同じ母親という立場を大事にしている所。
決められた仕事は、きっちり処理しているところ。必要な時にきちんと自分の意見を述べるところ。
決められた事業運営の中で、実績や事業評価をもとに事業内容を工夫し企画・運営していること
決められた内容の業務を、よりの確にかつ係るスタッフに負担が少なく、全体として円滑にすすめられるようにしていること。
結果(最終的な数字)だけで判断するのではなく、その理由もきいてほしい。
結果がすぐにはでない保健事業を3年、5年での評価を認めてほしい

結果がすぐには出ないので統計的に長期間みてほしい。
結果がどうであれ、事業の企画、運営に関して、患者、住民の声(ニーズ)を把握した上で実施している点(参加人数の多少で判断しないでほしい)
結果がなかなかでない仕事であるという事を知ってほしい
結果が出るまでのプロセス 結果、方向性を導くためには、その何倍もの労力が必要であるが、その部分は見えにくく、評価されにくいのではないかと思っている
結果が短期にはでなくてかつ数字的に明らかにできるものではないが地道だが住民意識の高まり、健康度の向上につながっていること
結果が明確な数字となって、あらわれないことであっても数字だけでなく、プロセスも評価して欲しい
結果が目に見えない事例に対する対応等について
結果だけでなくプロセス
結果だけでなく過程、見える所だけでなく見えないところ
結果だけでなく過程も
結果だけではなく、そこに至った経過や過程についても評価してほしい。
結果でなく過程
結果ではなく過程
結果として、はっきりと目に見える仕事ではないと思うので、水面下での努力が評価されにくい仕事だと思う
結果にとらわれるのではなく、それまでのプロセスについても評価して欲しい(どんな困難なケースにあたって、解決へのプロセスのなかで、助言していただいた事や、連携して良い方向へつながった時、専門職として、自信につながり、対応できるので。)
結果に至るまでの過程
結果のみではなく過程etcも考えて欲しい 数ではなく内容も見えてほしい
結果のみではなく事業や事例に対応した過程についても評価してほしい。
結果の数字でなく、そこにたどりつくまでの過程、かかわり、人間としての接し方、対応、又、専門職としての評価を専門化を含めて、行政(事務職)職にしてほしい
結果へいきつくまでの過程
結果も大切だが、そのプロセスを自分なりに頑張ってること
結果や、経過が上手にいかなくても、住民のことを思ってやっていることを認めてほしい
結果や数字だけで評価するのではなく、その経過も大切に、評価してほしい。
結果や数字では表にでない困難な健康問題に関わりをもつ仕事を行っていること。
結果や数値(統計上)として現れなくても仕事していること
結果や評価がむずかしいが人々の健康を支援するという必要な業務をしているということ
結果よりも経過
結果を重視することも大切であるが、処遇困難なケースへの対応は過程を評価してほしい
結核等接触者から早期に発病が発見できたこと。
結核罹患率低下を、心底ねがいながら仕事をしていること。
件数にとらわれがちであるが、「個」を大切に活動している事
件数は多くなくても1人1人のケースとのかかわりをみてほしい
健康、福祉をもっと重要視して欲しい。
健康、福祉面の専門的知識や技術を使い対人サービスが出来それを集団としてのアプローチに出来ていること
健康づくり、介護予防を視点に地域と関わっているが、結果が数値として表れにくい内容のため、評価されにくい。そこを評価して欲しい。
健康づくり、子育て支援から児童虐待等、生命に直接するような業務にあたっている事
健康づくりについて住民を主体に考えているところ
健康づくりのために住民と関わり、事業をすすめているところ
健康づくりの観点から地域コミュニティづくりを行っている事
健康づくりは、予防意識を持って、毎日の努力の積重ねが大切であることを日々住民の方に伝えている。
健康づくりは町づくりとした視点で実施していること。
健康づくりや予防効果図っている事
健康づくりを目的に自主グループの育成・支援を行なっていること
健康づくり活動をヘルスプロモーションの考え方ですすめて実現していること
健康づくり事業として評価できにくい事業、住民個人々人を大切に、ケースにかかわるには、長期になり結果も現れにくいものであること
健康な人から病気になるまで幅広い住民をみて、地区診断の上業務を計画、実行していること
健康な町づくりに保健師の果たしている役割、機能。
健康な町づくり達成のために、そこに住む住民一人一人が健康で安心して暮らしているための事業を実施していること。
健康にまつわることを中心に住民と最も近い所において声をひろえること。
健康に関する仕事は特定の人のためのものではなく、住民すべての人に関わる場所。だから他課の人々と目的は一緒だと思うので、他課の人々に保健について理解して評価していただきたい。



健康に関する知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の健康管理健康増進に努めていること。
健康に関わる視点から幅広く住民と関わり、住民主体のサービスを大事にしていること。
健康レベル、意識に応じての保健活動を実践しているところ
健康管理という人間の根本に関する専門職として、働いていること。どのような職場に置かれても、そこに属する人々の「健康」を切り口として、いろいろな事業を展開できる点である。
健康教育(含、個別)や健康相談、家庭訪問等常に、住民が健康に関心をもち、生活改善をしていけるように、事業の企画、運営に試がけている
健康教育グループを自主グループ化し、継続し拡大していること
健康教育への取り組みや内容について頑張っている点
健康教育をする前、事前学習にかなりの時間を費して準備しているところ
健康教育を重視するより、相談業務と思っています。そのため、地域への訪問活動は大切に思うこと、集団より個別、住民の声を大切にしています
健康教育を重視するより、相談業務と思っています。そのため、地域への訪問活動は大切に思うこと、集団より個別、住民の声を大切にしています
健康教育を積極的に行なっていること
健康教室などを行う時、新しい技法を学んだ場合、すぐとり入れて実践してみること。
健康教室等の保健事業にいきつまでの経過
健康情報を分析し健康課題を明らかにして住民主体の健康づくりを目標にしていること
健康相談(個別)でのコミュニケーション技術や、健康講話の流れについてなど、評価とアドバイスを頂きたい
健康相談、健康教育の場で、住民の健康への意識が高まること
健康相談、健康教育等限られた時間の中でも積極的に住民とかかわり住民のニーズを把握し、健康問題の解決に結びつくとができるように努力していること
健康相談、訪問時には、相談者のみでなく家族の生活状況など全般的に聞くようにし、専門職として住民と関わるようにしている
健康相談や家庭訪問等を通しての個の対象者とかかわりを大切にしていること
健康相談や健診、健康教育など所内事業全般を担当し、住民と接する機会が多い担当であるが、住民の立場になって対応していくことを大切にしていること。
健康相談や健診後の指導や助言を行っても、その結果が表れにくい、分かりにくい。他職種の人からは理解してもらえない。
健康増進的な情報、知識の提供をし、住民が自主的に健康を意識し、グループ化し、日々生活を楽しくしていること
健康問題を糸口に地域作りをしている点
健診、相談などで親身に行っているが、結果が数字として表れてこない部分、喜んで参加して下さる住民の方々の声も評価してほしい
健診データから地域の特徴をみて住民に関わろうとしているところ
健診データを客観的に分析し、より健康増進が図られるように事業の企画・運営をしているところ
健診データから住民の生活実態をみようとしているところ 1人1人の体の状態を理解しようとしているところ
健診などの場面では数で表わされるもの以上に住民(利用者)の反応なども評価に加えて欲しい。
健診による早期発見早期治療、健康教育による生活習慣の改善が重要であり予防のための事業の企画、運営を行なっていること それが住民のQOLを高めることにつながっていくことを理解し予算をつけてほしい 医療費の伸びを抑制することにつながる
健診のデータをアクセスで処理し、■とな統計や個人の状態像の把握それに基づく個人へのアプローチを、チームを組み実施して来ている
健診やその他の保健事業の実施にあたっては、計画段階から地域の健康づくりの視点をとり入れることを常に心がけていること。
健診や相談業務を通して感じる住民の声を、保健事業の中で生かしてゆくこと。連携やチームワークを大切にしていること 困難事例への対応により虐待予防へつなげていること。
健診や相談等から健康問題をとらえ、教室やパンフを作成したり、考えていること。
健診結果をもとに、住民の声をききながら、ニーズに沿った教室を行い、疾病の予防活動・健康増進に力を入れていること
健診後の生活習慣病の予防としての関わりを、大切にしていること。
健診事業から分析し、必要な対象者について健康づくり事業を展開していること
健診等で把握した対象に丁寧に関わっていること
健診毎にアンケート調査を行い、母親のニーズを把握し、事業を計画、実施している。事業毎に評価を行い、次年度に生かしている
健診 健康づくり関係組織に関わり住民の声を大切にしていること。
健診結果等統計処理をして問題点等を考え地域をみることを大切にしている。
県から市に移譲された、市としては新事業に対する専門職のかかわり
県下では、精神保健福祉の分野は、福祉系の大学を出た福祉職の相談員がイニシアティブをとっているが、精神保健の必要性が母子、健康増進等の分野でも高まってきており、保健師としての知識を基に柔軟に対応できていること
見えづらい保健業務でも、努力しているところは認めてほしいと思います
見えにくい、地味な仕事でも住民にとって役立つ仕事であること
見みえた数字だけでなく、対人間との関わり
見やすく、わかりやすい媒体づくりを心がけていること。
現在、たずさわっている業務の緊急時の対応ができていない。現在たずさわっている業務の内容の研修が少ない
現在、介護保険係に、事務職の中の、保健師配置1名の部署で、仕事をしている。周囲の者に、保健師の専門性について理解している者が少ないのと、専門性を発揮できる仕事の場数が非常に少ない。そこで、保健師の専門性がある程度、理解してもらい、周囲の職員の信頼を得ながら協調して業務をこなしていることを評価してほしいと思う。
現在、感染症関係の業務のみ行っているため地域活動はしていない(啓発事業ぐらい)保健師としては評価しにくいと思う。
現在、結核を担当している、ケースの立場に立ち治療しやすい環境をつくる努力をしている

現在、思いあたりません
現在、所属は保健センターだが、実際は人権文化部の施設に常駐し人口の少ない小さな地域を担当している。地域内施設の職員と連携しながらの個別援助が主な活動で、多問題ケースや相談ケースに細やかに関わるようにしているが、保健センターの活動とはギャップも大きく、評価して欲しいとは思わない
現在、総合支所勤務しており、窓口での相談対応など、市民の身近なサービスの担い手としての役割
現在、地域福祉計画の策定に取り組んでおり、言わゆるこれまで自分がかかわってきた“ケース”ではなく“ケース”を通して見える地域でなく、一般住民を対象にワークショップを開き、専門職はどう関わっていけるのか、新しい視点をもつ必要があると感じています。評価される仕事にしていきたいと考えているところです
現在、評価してほしいと思う程、地に足がついての仕事ができていない
現在、評価に値するような仕事ぶりが発揮できていないので…
現在、福祉部門に所属していますが、課員20名中保健師1名という配置であり、上司の悪口ではないが、保健師の仕事をもっと理解していただけない。命令に従うだけの保健師が欲しいのであって、保健師業務を行う保健師が必要とは思っていない。困った時だけ専門職と言われる立場です。保健師業務を理解していただきたい
現在、保健師としての役割より、ケアマネとしての仕事を中心となってしまっているが、その中でも看護や医療の知識を生かして住民や他のサービス機関と関わっていること
現在、保健師として業務をすることは少ない。認定調査に関する業務を担当しているが、もっとわかりやすく市民に情報提供していくなどの部分に力を入れていきたい、時間がほしいと思う
現在、保健師のライセンスとあまり関わりのない業務を行なっている。できることなら、自分の専門の業務にもどりたい。保健事業から長期間、離れていると、保健師の仕事ができないのではないかと心配している
現在、保健師の業務からはなれている、今まで、得た知識や経験に評価がなされていない
現在、養護老人ホームに勤務しているため、負担感は少なくなっています。場所的に不便なところに建設されているため、通院等にも無駄な時間が多く本来の時間を制限されます。
現在ある制度やサービスの対象となっていない(受けていない)が、支援を必要とされている方への関わり。
現在おこなっている事業から導き出された健康課題や住民ニーズを新しい事業に反映させる努力をすること。
現在の業務では担当していることが整理されていない(業務が多い)ので納得いくような仕事をしておらず、評価して欲しいとまで至っていない。
現在の業務は、部分的なものが多いが、その中でも、専門職として現場を知らない事務職へ、情報提供していくこと(事業所管ではないので、事業の企画、運営も業務にないが事業所管のあとおしができるよう事務職へ、情報提供、理解をはかっている)としている
現在の業務は介護保険法内のかざられた業務であり、決まりに沿った行動のため特にアピールすべき点はない
現在の業務は記入の対象外と思いますので記入しません。
現在の業務は自分の満足する内容ではないので、評価の対象には考慮していない。
現在の業務は従来すべき、健診データの分析を基に、新たな事業の企画や見直し作業までできていない現状であるため評価して欲しいが挙げにくい
現在の業務は保健師というよりも事務職レベルとしての内容なので特に専門職という意識は出さずに行なっている
現在の業務内容からは「評価してほしい」と思う部分は具体的にあげられません。申し訳ないのですが。
現在の業務内容の全てにおいて適切な業務がなされているか
現在の職場と、役所とのスムーズな連携ができるよう日々努力している事
現在の職場において保健師として評価して欲しい点はないが医療職として、専門の知識を持って情報を得られる点。
現在の職場に就業し、このまちでは、今まで行っていなかった保健事業を企画し、実施していること
現在の職務上の立場は、住民に直接接して保健活動を展開することではないが、保健師の視点で介護保険保険者のあり方を常に考えている。市民サイドに立ち、必要な人に、いかに細部に渡っての情報提供し、介護保険サービスを上手に利用し自立の支援がなされるように運営されているかを保険者の中にいて確認している。
現在の職務内容(社務局長)は、専門職の性格を方面に出すものではなく、管理職としての広範囲な能力を求められている一と考える。ただ、事業の推進を図る上で、保健や福祉、行政に関する知識や技術をベースにした上での判断となっていると自ら推察しており、この点で事務職出身の事務局長とは、方向性は同じでも、異なった対応となっている部分もあるのではないかと考える。また、これが、評価してもらいたい点でもある
現在の担当業務として、処遇困難事例に対するコーディネート機能、関連機関との連携。事例を発表する機会を持ち、ケースカンファレンス等を実施し、互いの技術向上に役立っている
現在の配属先の業務は事務的なことが多いが、それをすべて事務として処理するのではなく、保健師の目でみて問題点があった場合、対処方法を考える。事例によっては他機関につなげるなど横のつながりを持たせた仕事をしている
現在の配置が、本庁業務で、住民とは間接的な接触でしかなく市の衛生状況の改善に目標をおいています。結核専任のため、数値で評価できることも多く、自分自身で分析しています
現在の部署では、専門性を生かしているとはいえず、事務職や、介護職との共同で、仕事をしている。そのため、専門職としての評価という点では特になし
現在の問題点から、それを改善するための方策を考え事業へつなげていくこと
現在の立場が、あまりに業務内容において多岐に渡っているため、自身で、少し整理する必要があると考えているため時に評価してほしい内容はない
現在は、PHN本来の活動の場での、勤務ではないが、専門職としての立場での活動のし方が、どこまで関わればよいのか等迷う事も多い。ただ係長をはじめ専門職であると認識をもってくれているのでやりやすい面はある
現在は、介護保険課で、調査員の業務等をしているが、今までの知識を生かして、調査のみに終わらず様々な社会資源情報を提供したり、他機関と連携をとりながらケースに合ったサービスを提供していること
現在は、結核対策のみを担当していますので、仕事の評価(活動評価)を、罹患率など対策の評価をしていますが、目に見えにくい活動を少しでも多角的な評価ができればと考えています
現在は、主に事務職の業務が、中心となっており、専門職としての経験だけでは、困難な場合が、多々あります。保健師の配置先により、他者から評価される面は、かわってくると思われ。また、その自治体が、めざす方向性によってもかわります。保健師として対人サービスに関わってきた経験を忘れずに行政事務を行っていること…でしょうか。
現在は、専門職として、今までの経験を生かしながら、保育所の子供たちや保護者との関わりを持ち、日々の健康管理を行っているところ。
現在は、担当業務の中で、健康支援のために勢一杯努力しているつもりですが、保健師の職種を効果的に発揮できているとは言えない状態です。大きく変動する時代の流れに上手く乗って健康レベルアップのために努力していきたいと思っています
現在は何もできていないが以前よりは他機関との連携を図り情報収集できているところ。次は連携の中で対象をより適切に、生活しやすくなるにはどうするかをともに考えていくことが自分の課題であると考えている
現在は介護認定業務のため、認定調査内容や相談を通して保健師でなければ出来なかったことと認識してもらい、今後を生かしていく。保健業務に戻った場合、1.内原町らしきのある保健計画に沿った事業を今後も残しながら事業をしていくこと
現在は介護保険の認定業務を担当していますが、調査や窓口で対象者と接するとき保健師の視点を持って関わるところ。
現在は業務をこなすことに精一杯です。評価してほしいという気分ではありません。保健師としてできる仕事を必死にこなす。それだけです今は…
現在は行っていないが、実際の業務だけでなく、(企画までの)情報収集や、課題やニーズを総合しての、事業企画までの時間。
現在は施設の相談業務に従事している。保健師は何かの時に、便利に配置される傾向がある。スタッフ間のやりとり、今後の方向性について、計画など、どこのようなところで統計的なこと、データ的なところを重視して、考えている専門職としてほしい
現在は調査員のため、毎日単調な仕事のくり返しだが、早急に介護サービスが必要なケースや制度の理解がむずかしいケースに対しては在宅介護支援センターへの連絡を心がけている。
現在は調査の役割が多いので、係として市民に対し喜ばれる事業ができていくか、連携がうまくとれているかなど

現在は本庁業務なので、地域での活動は皆無に等しいですが、各センターでの保健活動が実施しやすいよう、連絡調整、情報提供、技術向上への支援等行っています
現在は要方にありますので特にありません
現在介護認定業務を中心にこなしているため、特に評価してほしいところはない
現在介護保険係におりますが、介護予防の為、骨折、転倒予防、痴呆の予防の大切さを感じます
現在仕事について評価をいただいているから
現在担当している業務がよりスムーズに行っているよう、他のスタッフと共に考え、工夫するよう努力している
現在地域住民と直接的な関わりが少い中、健康づくりという住民にわかりにくい業務を展開していく困難さ。又、その業務を通して住民の行動変容や、それによって地域の変化については時間を要するところ
現在福祉部門に在籍しているが、保健分野との連携が円滑に進むようしていること
現在保健師業務は行ってないため、再び保健師業務のできる部署にもどりたい
現在老健の検診業務を担当している(2年目)検診事業運営の改善、新規事業の立ち上げをしていること
現時点では、あまり評価してほしい、評価できるところはないと思う。
現時点では、専門職として、やるべきこと、福祉課の一員として、やるべきことをすることが一番であり、そのことを自分で行ってどうであったかを評価して欲しい。
現所属には保健師が1名であり、精神保健福祉業務担当である。日頃、精神障害者からの電話相談、面接、訪問等は非効率的で、ただ話を聞いているだけの様に所属の上司や同僚には見えるかもしれないが、その事が、相談者にとって、いかに有益であるのかを知ってもらいたいと常に感じている。
現場(事業を実施しているその時間の)での、動き。(ポーとしていない時間がないように動いているつもりです)…あまり評価していただけるようなところはありません。
現場でできる範囲で住民のニーズに合った事業を考えていること
現場での活動、実践が予算、補助金事務、企画等と他の異動が頻繁な事務職に比べて、より具体的に検討できること
現場の仕事から離れてしまっています スタッフが働きやすい環境作りが自分の仕事と思っています
現場の声(住民の声、当事者や家族の声、関係機関の職員の声、他部署の職員の声)をできる限り直接聞くようにしていること。(解決や新しい事業の展開にはあまり結びついていないけれども)
現場の保健師が訪問や各種事業で得た、地域の情報を整理し施策に反映できるよう努めていること
現状で“よい”とは思わず、向上する気持ちがある
現状でどのような評価がされているかを確認したことはないので住民の声に速に対応しニーズを反映した事業を展開していく担い手としての評価をしていただきたい。
現状の課題に対する問題解決の方法・案 行動すること
現状の仕事をごなすだけではなくその中から何が問題でありどうすれば解決できるかという視点でとり組んでいるところ
現状や生活実態の中から、必要な事業について検討し、企画、立案、実施につなげる
現状をふまえ、必要と思われる事柄については、素早く対応すること、企画力
現状維持ではなく、住民の声を形にかえていけること。
現状把握を統計や、住民との関わり、施策の動きなどと総合的に行いそれをもとに実施計画を立て予算を要求し実施、評価をしっかりとっているところ
現職場と年数で、書くのは、難しいです。(保健師として…)
現職場は福祉分野である。事件がおきてすぐ対応が必要。しかも処遇困難でキーパーソンがない場合が多い。瞬時の判断と適切な対応が求められる。保健師としての医学的知識・看護をベースに緊急時の判断を経験をもとに求められる。地域の民生委員、主任児童委員、介護の関係機関、教育関係、病院精神科、児童相談所等連携してははれないポジションです。保健師としての知識とキャリアがないとできないポジションとして評価してほしい。
現段階では全て中途半端で評価できるところがないと思います。
言われたことは拒否せずやっている。
言葉や文章などでアピールしたり報告したりがあまり得意ではないが、仕事については、まかせられた部分はまじめにやりとげようとしている所は評価というかわかってもらえればうれしいと思います
限られた時間と、情報の中で、相談を受けた場合、自分なりに相談者のニーズに応じて対応しているところ。
限られた時間の中で、いかに効率よく効果的に事業を実施するかを考えデータ分析していること。
限られた時間の中で膨大な仕事をしていること。仕事内容も常に新しい知識が必要であり、判断力が要求される仕事をしていること。
限られた条件の中で、事業の運営に、新しい手法を取入れたり、事業の効果考えた取組みをしていること。
限られた人数の中で事業運営が行えるようにしていること
限られた予算の中で住民の声をできるだけ生かしていこうと考え、工夫していること
限られた予算の中で住民の声をとり入れながら柔軟に事業を展開しているところ
限られた予算及びマンパワーで最大限住民への保健サービスを提供しようと努力している
限りある資源をできるだけ有効に活用して、保健事業を行っていること
個から、全体のニーズを把握し、町の施策へと反映させることができていること
個だけではなく、家族、地域を総合的に支援できる能力を持っている
個との関わりを大切にす一方で、新しい情報を取り入れながら時代のニーズに添った業務を心がけていること
個のかかわりを、地域の問題と結びつけ、施策に活かしていくこと。
個のケアから地域の特性をつかみ、課題をみいだしていること とにかく住民により近い行政職として住民の声を反映させようとしているところ
個のケースを通して(個別相談や検診来所者などを含め)地区把握や傾向を探り、健康づくりの視点で関われる部分を探索しているところ
個の事例から、地域で必要な事業の企画・実施をしていること。
個の事例から地域で必要な事業の企画・実施をしていること。

個の対応を丁寧にするように心がけている。他機関との連携を大切に考えタイムリーなフォローを心がけている。
個への対応 組織育成
個を見るだけでなく、マスにつなげようと、いつも考えていること
個を大事にしていること。少しでもそのケースの健康レベルがUPするように責任をもっていること
個を大切にしたい関わり。
個を大切にしていること
個を大切に個を中心にサービス事業所との連携をとっており、関係機関から相談がもちこまれている点(中心的相談窓口になっている点)
個々から得た情報を地域と結び付け、地域の特性としてとらえ、事業の企画・運営に生かしていくところ。
個々に関わる1人1人の住民の話を、ていねいに耳を傾ける姿勢であることを心がけ、指導という感じではなく一緒に考えていこうと思っております。
個々のケースでの連携
個々のケースとの関わりを大切にしていること、その関わりから感じたり見えてくる地域性や社会資源の必要性などを地域との関わりへつなげていくこと
個々のケースに応じて丁寧に時間をかけて対応していること
個々のケースに対し、よりよい支援ができるように必要時間係機関と連携をとりケースの気持ちを尊重しながらも専門職として大切なこと必要なことは何かを考えながら相談業務等に当たっています
個々のケースに対し、最善をつくせられるように努めています
個々のケースのかかわりについて
個々のケースの思いにより添って支援している点 個々のケースの中から地域を見て常に住民の健康度upのことを考えて仕事をしている点
個々のケースの相談にのり、陰ながら支えているところ。
個々のケースへのかかわり、事例を通して、それを普遍的な施策として事業化していくこと
個々のケースを大切に、対応しているところ、ケースのニーズと、目標にそった働きかけをしていくこと
個々のケースを大切にかかわっているところ
個々のケースを大切に、理想(～あればいい～あるべき等)ではなく、本人の望むこと幸せを考え、対応を検討する様に常に心掛けていること
個々のケースを大切にしていること
個々のケースを通して関連する機関とできる限り連携し、健康面だけでなく生活そのものをケアマネジメントできるように心がけていること。
個々のケース支援のみでなく、地域づくりや啓もう普及等を行うことも大切な仕事であること
個々のもつ考え方、視点を認めてほしい
個々の意見を大切に生かし、地域の問題として、とりあげたいがまとめ方やどのようにしたらよいかまだまだ迷うことが多い
個々の健康問題から家族、地域という集団で問題をとらえるという視点を持っていること 画一的な目標達成にはなり得ない、対象者に応じた個へのかかわりがまかされていること
個々の住民と接し、住民の立場に立って事業の運営を行っていること
個々の住民に対して、真心を持って関わり、住民の声を大切にしていること。
個々の住民のかかえている諸問題に対して看護、医療と福祉の両面の知識を生かした専門職として支援できること。
個々の住民を本人を取りまく人々も含めて把握し、よりよい支援を考えていく専門性。
個々の情報をていねいにとらえそれを基に、おこりうる危険を予測をし、関係機関と連携していけること
個々の声を最大限にいかし、満足していただける対応をしたいと思っていること
個々の相談で、問題が解決したり、保健指導で症状が改善したりする部分が目に見えないところですがそういうところを評価してほしいです
個々の対人サービスにおいて住民の声を十分聞き真意をくみ取る努力をしていること地域全体の必要課題を考えながら業務の企画運営していること
個々への援助だけでなく、いつも地域全体の健康のレベルアップのための仕事をしていること 予防活動であること
個々への対応を丁寧にしよう心がけていること。
個々や集団への関わり件数ではなく、質(内容)を見てほしい
個々人がもっている問題解決能力やグループ地域といった集団としてもっている問題解決能力を発揮し、より生活の自立度があがりその人らしい人生の達成ができる様、支援できる所
個人のケアマネジメント力、又、地区の全体的な診断、相談への対応能力
個人のケースがあるいは住民の組織が成長していく姿は羨にでない時間がかかる だがその時間を一緒に費やしているがそれは評価されにくい
個人の生活を重視し保健事業を展開していること
個人の相談事は、ある程度、相手が納得するまで聞くこと(時間がかかっても)
個人や集団にかかわり、地域の問題やNeedsを把握できるところ 個々のケースや地域組織同士とのネットワークを持っているところ
個人や地区の一部からとらえられたニーズをもとにしてできるだけ地域全体に還元できるような形の事業やサービスに活かそうとしていること。
個人レベルでの評価よりも「保健活動の有効性や効果」などについて 第三者(例えば経済学者や社会学者など)的に評価を受けてみたい。問8-2の設問は「だれに」評価してほしいと考えるのか?例2. については住民から評価を受け、それを保健師として実感できればそれ以上のほめ言葉が必要なのか?
個人を大事に、数ではなく質を重視して行っている
個人を大切に接しているところ
個人家族との関わり(主に介護保険業務)の中から、集団一地域の介護予防、健康増進の事業へつなげられるよう、住民と関わっています
個人個人にあった方法で援助を展開しているところ

個人情報等を蓄積することにより、個人への対応はもちろん、地域全体に必要なサービスを考え、実施していること。
個人対個人の関わりを大切にしていること。
個人的には組織内での評価が現在の地位(職位)と思っているのでこれ以上期待しない。専門職としては、それではいけないかな、とも思うが、住民の方から、「ありがとう」と言われる(=評価される)仕事をしていきたい。
個人的には保健師は地域によく出て歩いて、顔を覚えてもらい、利用して頂くことで、評価という数値的なものではないと考えています。がん検診が何人受けたとか、増えたとか減ったとか、そういうことではないのでは…。(しかし、今の業務はそれに終始してしまっています)
個人的に評価は気にしてないので評価についてはして欲しいと思ってない 逆に自分が納得できてれば満足
個性の強い職員をしかも同職種(保健師)だけでなく栄養士、事務職も含めてまとめている事。
個別ケアと集団としての活動を統合できるような結果が得られる事業が展開されたこと。(例1のような事業ができたこと?)
個別ケースの対応や地区活動などで様々な関係機関への連絡調整をしていること
個別ケースへのかかわりのみならず、地域全体を視野に入れ、仕事をしているということ。
個別ケースへのかかわりや、健診、相談業務等の他、係長業務として事務量の多さに対する理解
個別ケースへのかかわりを大切に考えてかかわっているところ。適切な時期に適切と思われるかかわりを実施していること。(当前のことですか?)
個別ケースへの細々とした対応について
個別のケースとの関わりで、ケースの気持ちを大切にしていること。
個別のケースについては他機関と連携してできている
個別のケースにいいに関わり、得られたことを文章化していくこと
個別のケースに対して、その人にそった情報、ケアを提供しようとするところ
個別のケースのニーズを引き出す技術
個別のケースへのかかわり
個別のケースへのかかわりについてケースを洞察し問題点をあきらかにして、良い方向へもっていけるよう他機関と連携しながらことんまでかかわること
個別のケース対応だけでなく、そこを入口に家族や地域をみる視点で仕事をしていること、それをもとに事業企画、運営していること
個別の関わりに重点がおかれているところ、子どもの療育、養育にしっかり関わるところ
個別の支援(訪問、面接等)から、住民のニーズをひろい出し、事業の企画(グループ化)へつなげている点
個別の支援が地域活動につながっている、コーディネートやマネージメントを大切にしていること
個別の支援のひとつひとつを大切にしているという気持ちがあること。経験に応じた内容の仕事はしている—ということでしょうか、回答するのが難しいです
個別の事例から学ぶ姿勢
個別の事例から地域全体を見て、地域づくり、人づくりをして各種の資源を結びつけて、市民ニーズにあったサービスをつくり出し、運営しているところ 特に市民ボランティアの育成・支援や協働での事業化など市民とともに健康なまちづくりにかかわっているところ
個別の事例を地域で、ネットワークを組んで支える時に、ケアマネジメントし、ケアパッケージの提供、見直し、調整を、行っていること
個別の対応を必要とされる場合が多く、その解決には時間や労力がついやされてしまうこと
個別の面接、訪問に重点をおいて活動し、大切にしていること
個別援助
個別健康教育など、参加人数で評価せず、経過や、幅広い視点で評価してほしい
個別支援(ケースワーク)の大変さ。
個別支援(家庭訪問)を大切にしていること。
個別支援ではなく集団へのアプローチ、個と個をつなげるグループ作りをしているところ、保健事業に多くの住民を参加させていること
個別支援により、児童虐待を予防していること(特に母親のメンタルケア)
個別支援の積み重ねや予防的な健康づくり事業が、地域に長期的に与えている効果。
個別支援または事業を展開する上で、家族関係や関係機関の調整を行い、よりベストな状況に持っていくこと。
個別事例のかかわりを深めその中での問題から社会的ニーズを(公衆衛生的な問題点)把握し、地域住民と共有をはかり地域づくりの視点で仕事をしているところ(十分できてはいませんが)
個別性、個々の家族を見るように心がけて、仕事をしていること。住民が必要としているサービスについて、教育や教室の内容を注意している。
個別性を考慮した上での医療的サポート
個別性を大切にしていること
個別相談・援助活動や地区住民との関わりを大切にしていること
個別相談の事例に対し、できる限り、本人や家族の思いを傾聴し、援助者の考えを押しつけることにならないよう、心がけていること
個別相談の中で生活に沿った相談を、可能な部分からの支援をしている、ひとつでも解決の方向へ向くような働きかけを行っている ただ、今まで保健師の特性である地域全体をみた、事業の展開を十分に行なえずにいたので評価してもらえないようにしていきたい。
個別対応から、地域保健活動においての、支援技術(住民と共に歩む姿勢)
個別対応にしても地区活動にしても事例へのかかわりの経過とその後の変化に対しよかった点、悪かった点についての助言がほしいと思う、住民との信頼関係を大切にしていること
個別対応はもちろんのこと地域全体を対象としていること
個別対応をした数の評価のみでなく、内容で評価してほしい
個別対応をタイムリーに丁寧に心がけている 看護、医療情報を細かく収集し、教室、相談事業に生かしている スタッフ間の関係が円満になり仕事が円滑に行えるよう心がけている 地域の関係機関や住民ボランティアとも連携をとり健診等から見えてくる地域の問題を数値や声をきめて事業の中でかえしている。
個別的なかわりを大切にしながら活動しているところ

個別的な関わりだけでなく、地区組織活動を支援するための細かな活動についても評価してもえたら、と思っています
個別的な関わりで各々の気持ちを大事にしていること
後輩育成 業務整理
公共団体の職員の仕事として公正に住民に接し、住民の奉仕者であることを心がけている
公衆衛生の視点と住民視点を大切にしていること
公衆衛生の担い手として、住民の健康維持、疾病等の予防を続けていること
公衆衛生の評価自体、量的なものだけでは評価できるものではないし、そうかといって質的评价是評価者の価値観に左右されるので、客観的な公正な評価はできにくいと考える。従って評価する方も大変だと考えるのでこちらからの具体的な要求はない。
公衆衛生看護の専門職として、住民と関わり、健康情報を収集して、事業を企画化、実施していること。
公衆衛生看護を学んだ専門職として住民との関わりを大切に仕事をすすめていること
公衆衛生看護医療の知識を基盤にして 健康問題をかかえる地域住民のQOLを高める個人へのとりくみと それらを総合して地域全体の健康度を高めるための全体へのとりくみ両方していること
公正な立場で住民の生活援助、健康づくりについて、看護の視点でかわり支援しているところ。
公的機関がかかわっていくケースは困難ケースが多く関係機関連携をはじめかなり時間がかかることが多く質的部分も評価してほしい
公平な立場で、潜在的なニーズの掘りおこしから、きめ細かな対応を心がけていること
公民館に駐在(いないことも多いが)しており、業務、業務外でも細部にわたり対応している…現在でも「万屋」的仕事をしている
公民館や婦人会などと情報交換、連携しながら、健康教育等の活動をしている。
公務員としての姿勢、専門職として住民のニーズを把握しようと努力している所、対応の仕方
効率が良くなるよう考えて仕事をしている。
効率ばかりでなく、小さなこと(住民の声、ちよつとした変化)に対しても評価してほしい
効率は悪くても、訪問により住民の生活状況を聞き、必要に応じてサービスにつなげる 地道な訪問指導をしていること
効率性だけを評価するのではなく、住民の声を聞く姿勢で、住民と接し対応していること
効率的な仕事のすすめ方 効果的な保健活動について主体的に考えていきたいと思っている点
効率的に事務処理をこなしながら保健の専門職として個別支援にも多くの時間をさいていること
向むきに、仕事に取り組む姿勢
向上心をもって、新しい知識や技能を研修しながら時代に即した仕事をしようと努力していること
工夫、改善に努力していること。
広い視点で地域をみようとしていること
広い視野で事業をすすめるように他機関、関連する住民と連携しようと努めていること
広い視野で地域を見る観点から常にアンテナをはりめぐらし住民のニーズを把握するよう努めている
広い分野に関わる仕事範囲の中でどう活動しているか
広く住民と関わり、そのニーズに対応しようと努める職種であること
広く地域住民と接しているところ
考えがまとまりません…
考えたことがありません。評価して欲しいと考えて仕事を特にしていないので…
考えたことなし、思いうかばない
考えたことはありません、業務をこなすの一杯です
考えていない(目の前のことにおわれている。又、どうすれば、評価してもらえるのか、わからない。)情報を得たことをどう表現してどう上司に伝えて、協力してもらったらよいか、方法がわからない、情熱もないのかもしれない
考えられていません
考え方行動がずれていることがあるかもしれませんが、自分なりに考え助言もいただき行動しているつもりです。
行なっている事業が実績の数だけでなく、事業の質、事業のプロセス等を評価してほしい
行政(当市)の中では唯一 保健という立場で、地域に接していること。福祉は希望する人が、望んで受けにくるが、住民の中から本人がフォローの必要性を感じていなくても、保健の目でみて必要と思われる方にフォローしている点。
行政が主体的に行うのではなく、できるだけ住民の力・声を重んじ自主性が育つよう側面からサポートしている。
行政でありながら専門職でもあるということで、住民のニーズを行政に生かしたり、つなげたりする役割を大切にしているところ。
行政でしかできないスキマ産業をどうしたらよいか感えているところ(実行はなかなかむずかしい)
行政で働く保健師として全体の奉仕者としての心がけを持ち常に住民の声に耳を傾け添う形での支援を心がけていること 地域の中で活用できる潜在力をひきだし活用していこうと考えていること
行政と、町民との橋わたしの役割
行政として、他の業務の内容がわからないので勉強したいと思うが、日々の仕事におわれむずかしく、対人サービスなので評価されにくい。役場の人とのかわりが持ちにくい面あり(ここはまかせ(専門職なので)この分野は知らないだろう～)
行政としての立場と住民の立場を障害福祉の視野で立体的にニーズをとらえられる点
行政として必要なこと大切なことをやっているという評価
行政として必要な予防事業を実施しているところを、他職種(特に事務職)に評価して欲しいといつも思いつながら仕事をしている。その効果を表現できないこと。表現しきれないところにもどかしさと力のなさを感じる。
行政と住民による健康づくり推進システムづくり

行政のPHNとして、できること、立場について考え、事業の組み立て、実行を行っている。様々な職種、機関との連携を計って動いているところ。
行政の一員として、村の目指すべきビジョン達成のため努力している。その手段、プロセスの中で専門職としての知識、技術は生かされていると思う。保健師という専門職種という評価ではなく、行政の一員として住民満足度をいかに高めているかで評価して欲しい。
行政の最先端として住民の生活の場へ向き、住民の声、生活の現状を把握している。その把握した情報を基に事業の企画・運営をし、住民をエンパワーし、ボランティア育成や自主グループ育成を行っている。政策に生かせる情報を持っている
行政の最先端職種として直に住民と関わり、事業に反映させることができること。
行政の職員ではあるが、専門職の視点を生かして事業の企画・運営・評価をしていること。
行政の窓口となり、住民と日々接し、ニーズの把握に努めていること
行政の他の機関との関係において、同じ目的のもと協力し合って事業を企画・運営していることと努力していること。
行政の大きな組織改正が、すすむなかで、なんでもできる便利な保健師として、保健師の配置も細分化している。組織の中で、保健師をある程度の集団で配置してほしい。
行政の中で専門職として住民のために十分活動できること(体制的にも、人数的にも)
行政の中にいると行政マンとして動くことが求められることが多く住民からは専門職としての期待が大きい。専門職としての知識、視点、技術についてももっと重視してほしい。まして自身もそれに対応できる力量がもてるよう努力が必要と思う
行政の保健師として、専門職としての業務だけでなく、事務処理にも積極的に取り組んでいる所
行政の保健師としての立場で地域住民の生活を見守り、支援が必要な人には、適切な対応をしていること。
行政の保健師として求められるのは、さまざまあると思うが町民の保健室として健康について気軽に相談でき、いろんな専門部署へ、紹介できる場。自分の意志決定、能力を高めてあげられる場。人と結びつけられる場。
行政の立場から住民を支援していく視点を常に念頭において業務に携わることが心にかけていること
行政まかせでなく、地域の声を大切に、ニーズに合わせた地域活動をしていること
行政機関に勤務しているため中間的な立場として住民と関係機関の橋渡しの存在であるということ
行政施策するうえでPHNが医療の専門職又、地域、住民の声を聞きニーズ把握、健康問題を把握し生涯通じた健康づくり推進において地域づくり活動の役割を担っている存在であること
行政職+専門職として施策化していくところ
行政職として、専門分野だけではなく、事務分野についても考慮しながら業務に携わっていること
行政職としての意識をもち、“市民にとって”という点を忘れずに業務に従事していること
行政職としての仕事について
行政職として各課が有効的に市民サービスが提供できるように、企画運営に関わっていく
行政組織の中で一番住民に直結した仕事であり、住民の状況を把握し、事業を企画・運営するところ
行政側と地域から見る視点を大切にしていること。
行政保健師として市民と関わり、市民と協働で事業の企画、運営をしていること。
行政保健師は住民の生活に基づいた支援ができること。
行政力の質の向上
行動は目立たないがコツコツ努力している点
行動力、想像力、機動力。他の仕事をしていたので、その経験と知識を仕事に生かせること
行動力と住民に対するサービス(対応)について評価して欲しい。
高齢者が安心して生活できるよう関係機関や人々と連携し、必要な、介護予防や支えあいの地域をつくと事業の企画・運営をしていること
高齢者の健康相談時など、住民の全ての方に対して、1対1のコミュニケーションが求められる。役所の部署の中でも、住民の方と直接関わることの多い業務内容の部署なので、常に気配りを忘れないようにしている。
高齢者の自立支援を目的に地区組織育成し、地域ケア体制の確立が図られるような事業の実践活動
高齢者の総合相談窓口にて、住民や在宅介護支援センター、居宅介護支援事業者より処遇方法について相談される場合が多く、疾患から悪化する過程や本人を取まく対人関係など、予防につなげられると求められるような問題点や課題が把握しやすい環境にある。一度に、その課題に向けた事業の企画を行なうことができないが、少しずつ実施していきたい
高齢者支援業務(介護保険、福祉サービス等)での経験から保健事業においてもサービスの調整を行いやすいこと、住民の声を生かした事業を企画していくこと。
合併1年目であり、スタッフ全員が協力し、業務を遂行しているが、産休育休により欠員がでている状態で、評価して欲しい点もよくわからないような多忙な状態が続いている
合併直後の2年間限定の支所の健康・福祉業務を担当している、本庁の4課(健康づくり課、介護保険課、地域保健福祉課、福祉課)の業務に対応し、健康・福祉・介護相談等にも乗りながら、合併後の移行期指導に努めていること
合理性 容観性 統合性
合理的にただ業務を遂行するだけでなく人の気持ちをくみとり最終的に最良の方法がとれたと満足してもらえる援助を行っている点。住民との話し合いふれあいを大切にしているところ。時に不合理かもしれない…仕事はおそいが…
国や県で定められた調査基準を守り正確にまた調査員同士で意思統一して円滑に業務を遂行していること
国保保健事業の評価を医療費データやアンケート等を使い、客観的評価に心がけ、住民にかえていくことにつとめている。また、住民の意識レベルアップという点で、“人”に焦点を絞った取材広報にとり組み、住民の希望する場所、日時、内容の保健事業の実施を基本に実施している。
国民健康保険、保健事業を担当しており、国保の方と連携しながら、住民が必要としている事業を企画・運営しているところ。
今、いる職場、養護教諭としての職場ですが、文部科学省と厚生労働省と両面から仕事ができる事はとても、効率的な事を学んだ。あらゆる方面(課)に保健師として配置されることの有意性を感じています
今、どちらかというと、保健福祉の業務、他機関との連携をとることがとても多い
今、何が必要かということを考えて、企画している
今、評価してもらえるほどの仕事が出来ているか自信がない
今ある業務・人員の中で工夫して、いろいろな職種と力を合わせて企画していること
今ある事業を地域の実態やあるべき姿などに合わせて計画、調整すること。地域の健康づくりのための自主グループの育成に携わること。
今している事業に満足せず住民の声(ニーズ)を大切に事業に活かそうという気持ちをもっているところ(実際にはおこなえていないが…)

今すぐ効果がわからない保健事業、保健指導でも、将来を見据えたもので、大切なものであること。
今で十分です
今の業務に携さわって時間があまりないのでまだ…。
今の業務の中では見出し得ない
今の業務内容では評価されようがないと思う。仕事の範囲が限られている(一窓口)が、自分自身が、“保健師としてこういう活動ができる”というアピールも特にしていない。
今の仕事というよりは、保健師としてほしいという思いが強い。今の部署において窓口での相談では、なるべく相談しやすい雰囲気をつくり、相手方が“来て、相談してよかった”と思えるように対応しているつもりです
今の仕事は既存の事業の継続または小さな改善であったため、評価する程の内容ではないと思う。仕事の中心ではないが臨時職員の指導に時間と労力が必要なため、担当事業を深めきれなかったり、広げていけなかったと考えている。
今の自分の仕事から足りない視点、努力を要する点。
今の自分は、決められた仕事をやるばかりで、評価してもらうことにあたいたくない
今の職場は、事務内容なので、このアンケートには、そぐわないと考えられる
今の職場は保育所入所児童、保育士の健康管理に対する助言、指導です。保育士さんから入所児童のことで相談を受けたとき、適切に助言できない場合もあります。そのときでも、関係機関との連携をとったり、保護者と面談したりと努力しています。視点はいつも「子どもの幸福」に置いていること
今の部署にさほど必要とされていないので、特に評価されなくてもよい
今は、スキルアップめざしているので評価して欲しい所はまだない。
今は、自分の仕事に自信がないので評価に値するところは、ありません
今はまだ1年目で知識も不十分なので「やる気」位しかありません
今はまだ与えられた仕事をなんとかこなしている状況なので特に評価されるところもない。住民対応には気をつけている。
今はまったく考えられない わからない
今はよくわかりません
今は思いつきません
今は十分に仕事できていないのでわからない
今は少し自信がなくなっている、評価してもらいたいところはわからない
今は上司の設定した目標を遂行するようにしている
今は身心状態がよくなく、自分のリハビリのために仕事をさせてもらっている様な状態で、ここを評価して欲しいというところまで回復していません。
今は特に考えていません。
今は日々勉強なので
今は保健師の仕事というよりケアマネージャーとしての仕事です。自分の仕事を評価して欲しいと言うより、ただ、今は利用者のために頑張るだけだと思っています。
今は与えられた仕事を確実にこなすことができた時、認めてくれればOK
今まで、交流のあまりなかった機関との交流が求められるようになったので、情報のとり方、自分の役割の認識が適切であるのか評価して欲しい
これまでの行政センターの相談事業についてH15年度よりも身近な集会所単位で回ったところの増加、いつもと違った茶所者や地区の情報などを得ることができたことが良かったと思っている
これまでの事業では私達が一方的に事業を実施してきたが現在は住民の意見や思いをもとにした計画ができ、それにそった事業を展開中であること。
これまでの知識に、体験、考察を重ねた、観察の目を持って、母子に関する健診をこなしている所
今まで保健事業は効果を上げるというより実施することに終始していたことが事実と思うため、効果を上げたかどうかの設問に答えることができないもどかしさがある。評価は自分では良くやって来たと思っていても事務職、上司が見るとよい評価とできない
今起こっていることだけではなく予防的な視点でみていること
今現在、保健師の業務はほとんどしていません。ので、質問の回答にとても困りました！環境衛生(廃棄物、狂犬病予防、献血、公費、公衆衛生推進協議会事務局etc)予防接種事務などを日々行っています。保健師本来の業務に役立つと思いつつ、奮闘しています。(事務処理には、少し詳しくなつたかなと思います。色々な機会に知りあった方々とのつながりを今後大切にしていきたいです。
今行っている事業に対しては、良くも悪くも評価をいただいているので、とても満足して、やりがいを持って仕事をさせてもらっています。
今行っている保健師活動が、すぐに評価できるものではないと思いますが、長いスパンで評価してほしいと思っています。
今大学にも通っているのですが、心理学について勉強しています。また他市町村の保健師や保健師学校の時の先生との情報交換を通じ、業務に生かす工夫をしていること。
今年初めて企画した事業の評価をしていること。(研究発表用)
今年度異動したので仕事を覚えることに一生けん命で評価にあたいするものはありません
困っている相談者に沿って、個別に対応していること。
困難ケースが多い地区だが、できるだけ対応しようとして努力していること。
困難ケースなどの対応が多い一数值では見えてこない部分があることなど
困難ケースにおいて、とっかかりが難しくとも関係機関に声をかけをし、結びつけ連携しながら問題解決できるよう動くことができること
困難ケースに対する関わり＝関係機関との調査から問題解決へ向けての支援について
困難ケースへの対応
困難ケースを担当する保育士、困難ケースの家族へ、ケースの成長を見守るとともに、関係機関との連絡調整により、よりよい支援を提供できるよう努力していること。
困難な事例に
困難事例、家族内で複数の問題をもっている、キーパーソンが居ない、等に、日頃から、関わっていること。関係職種・関係機関と連絡調整をしながら、取り組んでいること
困難事例における保健師の役割



困難事例について、関係機関と連携しながら、見守りのシステムづくりをしていること
困難事例について専門性と、コーディネート(自分の開拓した機関との連携)によって対応又、事業として発展させるところ、多職種、組織の連携体制をつくる
困難事例に対し、1事例にかける労力は、かなり置やしているところだが、実績として目に見えにくい為か、評価されにくい
困難事例に対し、連携をとりながら、駆けつけに向けて努力しているところ
困難事例に対しての関係機関との連携および、話し合いの場の設定の調整など、コーディネーターとしての役割をしている事。
困難事例の検討や連携を通し、関係機関との連携や意思疎通を大切にしているところ
困難事例の相談業務は、本人とその家族、そして周辺の人々、関係機関など種々な方々との連携、話し合いが重要であり、一応の解決をみても、モニタリングしながらフォローが必要である。しかし、個々対応業務で、秘密保持の観点から行政的に非常に仕事の内容が理解されにくいので、福祉分野で相談業務の保健師の活動は重要視してほしい
困難事例への支援の積み重ねによる関係機関との連携の良さ、具体的な支援内容を保健師同士の共有化した情報にできないので、1人1人の仕事内容を評価してほしい。(保健師業務を専門職とみない上司が多い)
困難事例への対応について各関係機関との連携
困難事例や新規事業を円滑に行うために他職種間の潤滑油的役割を担っていること(その労作は統計、記録には反映されず、評価の項目に入ることもない。)個々の事例や事業毎ではなく保健師個人の仕事の評価。どの様な点をスキルアップすべきか客観的な評価が欲しい
困難事例や予防的とりくみなど量ではなく質的な内容
困難事例等、なかなか結果にでない時、繰り返しアプローチする点など
困難事例等数年の期間を要するケースに対して、なかなか成果・変化がみられないが、業務の中での意義を理解し評価して欲しい。
根気強く関わり続けられること
根気強く相手と話し合い、問題を共に解決しようとする姿勢
根拠に基づいて論理的に筋の通った事業の展開・個別対応等の業務をしようとしていること。
最近は目の前の業務に追われ、ただ業務をこなしているだけであって、評価してもらいたいことをあげるに値しないとと思う。
最小限の予算と人員で、住民に全力で対応している姿や事業実績(質的な面も含めて)を言葉(一言でもよい)でも評価してほしい。
最小人員で市職員の健康管理を行い、職員からの相談等を受けとめていかなければならないこと。
最少の費用、労力で最大の効果を生み出そうと日々、工夫努力していること
最少限の予算内で問題を明確にし、改善につとめているところ
最低限のレベルかもしれないが役割を責任をもってはたすこと、チーム中で仕事を行うこと
細かな部分を見るのではなく、全体的な評価をしてほしい。
細部にわたり配慮して業務を立案又は実施していること
在宅介護支援センター(基幹型)を担当しており、在介職員やケアマネジャーの相談支援しているが、支援することによりスムーズに業務を行なえたこと。
財源確保を常に念頭に置き、かつ、スタッフの意欲や、意見(住民、その他団体、事業者の声を反映しているものを含む)をもとに、新規事業に取り組んでいること(実際、全国的に、問い合わせがあったり、取材などで、それなりの評価を得ていると思っている。)
財政的に厳しい中で、お金をかけずに、サービスの質を低下させないで事業を企画していること。
札幌市の要介護認定調査が公平・公正・じん運に実施できること(精度が高いこと)
参加者の声を大切にし、今後の事業のあり方を考え、少しでも改善できるところは改善するよう取り組んでいること。
参加者の満足度を大切にする 住民の声を事業にできるだけ反映させていく
残業しなくてもこなしている仕事の量や内容をわかってほしい
残念ながら、評価に値するような仕事になっているとは言えないと思う
仕事と住んでいる地域が同じであり、福祉(高令)分野に所属していると相談が、日夜ともあり状況把握しやすい状況にある。介護予防個別ケア計画時に親せきによる支援も含め、保健医療の知識を生かし関わりをもち、対象者に合う事業運営を大切にすすめている
仕事にあまり反映されていないが、努力はしていること。
仕事につき、まだあいまいなところが多いと思うが、人との関わり方や住民への接し方など節度に努めた対応を評価してほしい
仕事にとりくむ姿勢、積極性など
仕事により異なります
仕事に取り組む姿勢
仕事に対して一生懸命取り組んでいるところ
仕事に対する姿勢
仕事に対する姿勢
仕事に対する評価(問題点、改善策、課題など)を自分なりに行ない、できる範囲で改善していく(いこうとしている)姿勢
仕事に熱意をもって前向きに取り組んでいるところ
仕事の具体的な内容(企画・運営・まとめ)
仕事の結果以外に、その過程も評価して欲しい。
仕事の効果が単年度で評価しにくい職種であることを知ってもらいたい
仕事の質に自信がないので特にありません…
仕事の手際はよくないが、1つ1つじっくり関わって仕事をしている、事業の企画、運営もマニュアルにそうだけではなくさらによいものにするにはと考え工夫しながら行っている
仕事の全体をみる立場としての評価、市民サービスの向上
仕事の全体をみる立場としての評価、市民サービスの向上

仕事の中で表面化しない部分があること
仕事の中身 数字だけでは評価できないこともある
仕事の内容、量に対して実感的にどれくらいの活動ができていのか見極めて欲しい
仕事の内容が、外部からは理解されにくい点がよくあります ex)精神の方への対応の大きさ、など
仕事の評価が数字としてなど客観的にすぐに得られるものではない事が多いこと 評価の視点をもって事業実施するようにしているが、伝わりにくいと感ずるとき
仕事の評価は何かの(結果として)形を残せるようなもの
仕事の忙しさを分かってほしい、全部要求が通ると思わないでほしい。それに伴う苦情などの処理が大変
仕事は、してあたりまえ、ベストをつくしてあたりまえだと思ふ。特に評価してほしいとは思わない。それぞれのケースにあわせて、考える方法も実践の方法も違っている そのケースや事業が相手や参加者に満足してもらえれば、それが評価であると思ふ
仕事への取り組み方で、足りない部分を具体的に評価して助言をして欲しい。(ここは十分にできているところよりも、この対応でよかったのだろうかと感じることの方が多い)
仕事への理解(保健事業を行っていること、訪問など)
仕事をしていくにあたり、文献検討、新しい情報を時間外に積極的に集めていること
仕事をしていること
仕事を行うことに精いっぱい、評価してほしいと思ふまでの心境に至らない。
仕事自体の管理能力(スピード、計画性、効率etc)
仕事上、事務や福祉職の人と共にすることが多いが保健の知識をもっているという点や窓口での対応の仕方など評価してもらっていると思ふ
仕事上で獲得した資格を住民サービスの為提供したい
仕事全般
仕事内容や計画、立案等
仕事量
仕事量
始めはむずかしいと思われる仕事もむずかしいと感じない前向きな姿勢。「どうかなるさ」そのために自分の時間を使って勉強する姿勢。
子どもからお年寄まで幅広い年代を対象に健康の維持増進の支援を行っている。看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
子ども達の姿や保護者の声を大切に、とり入れているところや、それと現代のニュース(問題とされていること)を早期にとり入れているところ
子育て支援～お年寄りまで住民の健康を守るための住民の声を大切にしながら事業を運営していること。
子育て中のお母さん達が安心して育児ができるようにグループ化したり、情報提供、他機関との連携などを行っているところ
子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした仕事をしていること。住民に最も近い行政機関として、住民の声を身近に聞けること。
市に就労して26年になりました。就労時、保健事業は、理解されず、「市民の健康づくり事業」をマスタープランに上げ、1.保健師増員 2.健康課設置 3.保健センター設置を提案し、現実のものとなりました。活動の中には、わたりきり者の訪問看護事業もあり、県と看護協会のモデルとして、他に先がけて取り組みました。平成12年度から福祉との連携・統合を旨とし、地球福祉課(福祉事務所)で、老人・障害者福祉サービス担当ですが予算では、いつも力不足です。
市の政策上の課題と住民ニーズをあわせて事業の企画提案やまとめをしていること
市の保健行政を総合的に見て、推進することに努力していること
市全体の保健状況をすぐに良くするのは難しい。個々の関わりについて見てほしい。
市町村では住民の健康管理のうえで一番身近な立場にあり、個々に応じた指導を実施していること、地域の状況を考慮して事業を展開していること
市町村長、知事、議員等ふくめた上司に「保健師」とはどんな仕事をするべき職種かまず理解してほしいです。保健分野だけでなく現在は福祉分野にも保健師をおいている理由、目的をはっきりしてほしい。ただ体のことを知っているから、病人とかかわることだからと配置しているとは思えない状況の中で何をもち評価して欲しいかとは考えられないし評価の土壌にのっていないのではないかと感じています(保健師としては...)
市民サービスの向上に役立っている事
市民とのかかわりの中で立ち上げてきた事業が市民によるこばれ継続していくこと
市民とのつながりを大切に、地区活動へつなげていること。現状の業務をより良くしていこうという意欲、取り組み
市民と創り出す協働体制によるまちづくり
市民ニーズ→健康マーケティング(内容・方法)→計画(内容・方法)～目標共有型～実施→評価～市民と共有～ 1. 左記の通り、仕事をつみかさねてきた事。学生時代にならってきたことを基本に、現場に合うよう工夫してきた事
市民に対し、誠実に誠実な気持ちで仕事をしている専門知識を持った職員であること
市民に良質なサービスを提供できるよう、各職員の健康管理をサポートするために、健康診断統計の環元や、健康情報(パンフ等)の提供、保健指導、健康教育、健康講座等の企画、実施をしていること。
市民のニーズを保健事業を通して把握し、保健活動や市の総合計画に反映すること 住民が主体的に活動できるようなかかわり方のノウハウを持っていること
市民の健康・体力づくりに対するエンパワーメントが高められる活動をしていること。
市民の健康や子育て等の知識を身につけて、市民の意識の向上につながると思ふ事業はなかなか数字では表わすことが困難ですが、数字だけでなく事業の質に目を向けて評価してほしい。
市民の健康管理をメンタル面で担っているところ
市民の生活を全体的にとらえていること。
市民の声
市民の声と、行政が考えるニーズを考慮して仕事をしていること。
市民の声によく耳を傾けながら事業のことを考えていくところ。
市民の声を拾いあげて事業につなげていること

市民の声を大切にし、信頼関係を築くよう努めている所。
市民の声を大切にしていること
市民の尊厳やプライバシーを大切に業務を行っていること。
市民の方が不利益にならないように公平中立に介護認定審査をしているところ
市民の方々の満足を得るために日々業務やチラシ、ポスター、企画など工夫していること。
市民の立場から事業を考えることができる。
市民ひとりひとりと真摯に向き合っていること。
市民へのていねいで迅速な対応。当たり前だが、地区担当業務と事業担当業務の両立ができています。
市民へのていねいな対応を心がけている
市民を主体にし、個別対応を大切にしていること。
市民全体の健康レベルをあげるために、どのようなしくみが必要か検討し、事業の企画をしたいと思っているところ
市役所職員の健康管理を行えば結局住民全体の100人に一人に働きかけを行なう事になるが、その点を意図して仕事をしている事の意味を評価して欲しい。
思いあたりません
思いうかばない。
思いうかびません 自信をもって言えるように頑張ります。
思いつかない
思いつかない。
思いつきません
思いつきません
思いあたりません
思い当たるところがありません
指導の充実を図るため、事業内容を検討していくところ
指導や検診など実施数だけでなく、内容を工夫している点
支援を必要とする高齢者及び家族に対する相談、助言をおこない必要に応じて関係機関との連携及び調整
施策決定の場に参加し、看護や医療の知識を生かした専門的な意見や考え方を取り入れてきたことを評価して欲しい。新しい事業を国の動向などをみて、現場がやりやすいように住民サービスが向上するようにたちあげたこと。本庁にあって、事務担当の理解が深まり、協力が得られやすくなったこと
私が所属している係は他職種(事務職、看護師、保健師)が集まり、皆が同じ業務を行っています。各々、業務の役割分担がありますが専門性は特に必要ありません。もっと専門性を出していきたいところですが体制的に難しいため、見直してほしいと考えています
私たちの職種は、統計やパソコン等を扱う業務が大切なのももちろんのことであるが、それ以上に大切にならなければならないのは、人と人、フェイスツーフェイス、人の気持ちを思いやり、その人がどの様になりたいのか、そこに手をさしのべる、支えていくという気持であると思う。そういった点から、住民との関わりや思いを大切にしていること。
私たちの職場ではほとんど事務職であり、なかなか保健師などの専門職に対して業務内容や職種自体を理解してもらえないことが多い。
私たちの保健活動は、なかなか目に見えての効果というものがありませんが、実施するまでの経過及び、努力だけは評価してほしいものである。
私なりのペースで頑張っているところ…
私の方から「私の仕事のどのようなところ」と指定するような評価は求めています。
私は自分には保健師としての能力が欠けているのではとの思いから人をたくさん知るとい事に心がけて来た。自分の時間を使い講演会や勉強会等に参加し、自分なりのネットワークを作ってきたつもりである。そこからケアマネからの相談には他の専門職のアドバイスを受ける事ができる。又、私は介護保険係であるが身障等の相談や訪問も行なっている、これも必要な会議の開催、DRへの連携も実施できるのは、ネットワークを大切にしているからではと思う(保健師だから当然といわれるとつらい)
私自身まだ経験不足もあり、仕事をこなしていくに精一杯という感じではあるのですが、単に今実施している業務が、どうなればもっとよりよい内容になるか、変えた方がよいところは改善しようとする努力はしているつもりなので、そのあたりになると思います。
私達の仕事を通じて市民の健康への意識が向上し健康づくり活動をしている市民が増えていること。
紙上では表現しにくい、他機関との連絡調整や相談にかかる膨大な時間と労力。
資格をもつ専門職として住民へ対応していること、多分野(母子、成人、精神)にわたって対応している(地区わりをしており全てのケースに対応)
事業(業務)に関係する人達が意欲(やる気)をもって、前向きに問題解決等にたずさわることができる。環境づくり。(自分の行動が実現に向けて効果的であると考えるのは、むづかしくても、「関係者の努力が評価され、チームワークがとれていくこと」が大切だと思うのだけれど…)
事業、報告書(まとめ)をつくり、次年度へのこしていること
事業が円滑に行えるよう考え、運営を心がけている
事業が終了した時、自分なりに反省・評価をし、次に生かすよう努力しているところ
事業が住民サービスに、どの程度なっているのかというところ。
事業が少しずつ住民に浸透していること。自主活動として、住民が主体的に、楽しく活動しているすがた
事業ごとに評価したり反省点を見つけ、次に生かそうとしていること。
事業ごとに評価し次に生かしていること
事業で対象とした住民、関わった方が満足することが評価だと思う。数値的な評価(死亡率、医療費等…)もあるが、それだけでは見えない部分を見てほしい
事業で対象とする集団を評価する場合、質問紙や一般のスケールを用いた尺度によって評価する量的な評価が中心であり、その集団の表情が明るくなった、服装がおしゃれをするようになったという質的な側面があまり評価されていないように思う、この集団の質的な変化をきちんと踏まえて対象者に接していること
事業としてではなく、日々の活動の中から新たな関わり方法を生みだしていること。事業化はされていないがPHN間で事業として取り組んでいること。

事業として行なわれるまでに、色々な協議や準備が大変であるということ。
事業に参加した住民の声
事業の、実施回数などの数だけでなくその過程、内容を評価してほしい
事業の1つ1つが住民のためであり、保健師の趣味等で実践されているなどと管理職に思わないでほしい点。つまり、事業1つ1つはきちんとした目的があり、住民のためのものであることを評価してほしい。
事業の1つ1つについて、現在の状況をふまえて、改善していける点を常に検討し、住民にとって必要な情報をとり入れていっていること。
事業の運営に関し、具体的にどのように動いていくかを意見として出しているところ
事業の企画 実施、評価を2課にまたがって実施している 事業課は日々地域で住民等とかかわりを持ち、地域保健業務を実施し住民から情報を得ている。又事務課と言いつら企画評価にも協力をしている
事業の企画、運営能力-対象者との個別の関わりによって健康問題の解決をサポートすること。
事業の企画、調整を専門職として処理できているかどうか
事業の企画、立案、事業実施状況
事業の企画、立案がきちんとしていないと評価は出来ない。
事業の企画～評価まで一連の流れをスムーズに行うための調整をしているところ。スタッフ全体の事業と取り組みへの動機づけの推進
事業の企画・運営に際して、住民アンケートを反映させる様になっていること
事業の企画・運営をコツコツ行うこと コミュニケーションをとっていること(ディスカッションまで行っているかは不安)
事業の企画・運営をする上で、住民の声を参考としている(アンケート等をとるなどして…)
事業の企画・運営評価を行っていること
事業の企画運営
事業の計画・立案をする上で、保健師としての専門性が生かされているかどうか、又、住民のニーズにあった活動であるか…
事業の結果をできるだけわかりやすく、グラフ等を用いてまとめたり、住民の声を大切に活動していこうと心がけているところ。
事業の見直しを常にしている。次回は、よりよいものにしたいという意向を持っている
事業の見直しを通して現行のもの、市民ニーズを考えて次のものをつくらうとしているところ
事業の効果を参加人数のみを見るのではなく、健康への意識変化や日常生活における行動変容などの改善点を評価する。
事業の効果を上げるために、連携や、組織育成を重視して業務を実施していること。住民のニーズを第一に考え、業務を実施していること。
事業の施行に伴い、助言が得られることが、評価だと思いますので、具体的にどのようなところ、というよりは、活動全般についてモニタリングしていただいて、評価をしていただけたら、自分自身の身につくのではないかと考えます。("評価方法について"になっていますが…)
事業の実績、人数だけでなくその課程、内容などを含めて評価してほしい。
事業の充実をめざしているところ
事業の展開や他スタッフとの連携。住民から得られている信頼(住民への対応)
事業の内容が、効率的かどうかを考え、改善していこうと取り組んでいる事
事業の評価(住民のニーズ、統計的評価)を次年度事業実施時に活用していること
事業の評価が一般的に数値等でしやすいが、我々保健活動における評価は長期間にわたり、数値としてあらわれにくい。上司にこのことを理解してほしい。対住民サービスで住民に密着して活動している点で評価してほしい。
事業の評価に基づいて優先順位をもち事業を企画していること
事業の評価をまとめ、上司に伝えていき、そのことをまとめ、それに必要な仕事量人員配置をしてほしい
事業の評価等に手をつけている。統計処理等勉強している所 他職種とよく話し合いをしている所
事業の目的、意味、効果を考えて仕事をしたい点。実績(回数、延人数、予算消化)にばかりとられる仕事ではやりがいがない。
事業の目標を設定し計画的に仕事をすすめるようにしていること。
事業は、事前のうちあわせから、実施、反省、改善とつなげながら取り組んでいること
事業への参加者数のみで内容を判断せず、質や、参加者の声(感想)も評価してほしい。
事業への対応や住民からの対応の仕方。専門知識を生かして住民と接するまでに下準備や勉強に時間のかかること。
事業やケースを通して把握した地域のニーズを行政の関係部局と協力し、ネットワークにより総合的視点で市としての施策に位置づける。実施した成果をまとめ評価していくこと
事業やケース対応に対して行っていること
事業やサービスにおいていかに住民の方のニーズにあったものにするか工夫しているところ
事業や支援の結果が数値化しにくい、他職種から理解されないことが多い。保健活動特有の「評価のむずかしさ」について知っておいてほしい。
事業や住民との個別の関わりを通して住民の生活や思いを把握し、事業につなげていこうとしていること。
事業や担当業務の範囲だけではなく、トータルで、考えていける視点ができてきたこと。
事業をすすめていく上で、対象となる市民の方々はもちろん、その事業に関わる関連機関とも連絡調整を行い、より参加しやすくスムーズにすすむよう配慮して企画・運営している事
事業をスムーズに運営、てんかいでできる能力も評価として重要だと思うが、その事業を通して、地域住民の行動変容なりエンパワメントを支援していこうとしている視点や関りも評価してほしい。(形にみえるものではないが…)
事業を企画する上で保健師として多くの住民とかかわり得た情報等を活用していること。現場の問題点を十分考慮していること。
事業を計画、推進する経過において、自分が関わることで、住民の保健行動に何らかの利益が生まれることを大切にしていること。
事業を効率よく充実させるための努力 健康づくり推進員等のかかわり、支援
事業を行ううえで住民の理解を得て協力のもとすすめていこうと配慮している